

## めむろ☆未来ミーティング対応書

( 今後の対応が必要な事項 ・ 次回までに検討が必要な事項 )

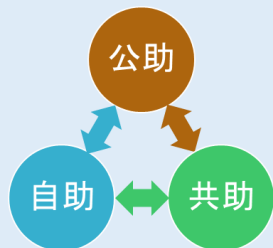
↑該当する項目に○を付けてください

トーク開催日	令和6年11月24日（日）
トーク会場	芽室西地区コミュニティセンター
対応が必要な事項	自主防災組織のわかりやすい資料はないか
担当部署	総務課
対応方針 *該当項目を残し、他は取り消し線をかけてください。	<div>1 即対応する（した）</div> <div><input checked="" type="checkbox"/> 2 中長期的に検討する</div> <div>3 対応できない</div>
対応内容	<p>【質問・意見内容】</p> <p><u>②自主防災組織のわかりやすいプレゼン資料のようなものや、かみ砕いて非常に明快な資料等があればぜひ参考にさせていただきたい。</u></p> <p>【対応内容】</p> <p>組織表やマニュアル書等が、わかりづらいということですので、今後お話し合いをしながら可能な限り御意向に沿ったものを用意出来ればと考えております。</p> <p>まずは北海道で用意しているパンフレットとホームページの資料を提供させていただきますので、御活用いただければと思います。</p>

# 「自主防災組織」を結成しませんか？

自主防災組織とは、「自分たちの地域は自分たちで守る」という自覚、連帯感に基づき、災害による被害を予防し、軽減するための活動を行う組織です。

## 発災時に重要な「自助」と「共助」



災害時への備えは、**自助・共助・公助**の3つに分けられます。

- ☐自助 自分の身を自分の努力によって守る
- ☐共助 地域や近隣の人が互いに協力し合う
- ☐公助 行政による救助・援助など

しかし、災害時は「**公助**」が十分に機能しない場合もあります。その中で**命を守るために重要なのが「自助」と「共助」**です。

## 能登半島地震でも活躍した自主防災組織

令和6年（2024年）1月に発生した能登半島地震の際、能登半島の先端部の海沿いに位置する**珠州市三崎町寺家下出地区**みさきまち じけ しもででは、**地震発生後に隣近所が声を掛け合い、早期に避難**したことで、堤防を越える大きな津波が地震発生から25分ほどで襲来し、多くの住宅が倒壊したものの、**住民全員の命が助かりました**。

この地区では、**自主防災組織が設立**されており、避難計画等が整備されていたほか、2011年の東日本大震災以降、**毎年1～2回地震や津波を想定した避難訓練を実施**しており、こうした**日頃からの取組が命を守るとっさの行動に繋がった**と言えます。



## 「自主防災組織」を結成しましょう

### ＜結成するメリット＞

- ・地域内の**繋がりの強化**
- ・地域内での**役割の明確化**
- ・活動に対する支援施策がある場合も…

■自主防災組織活動カバー率（R5. 4. 1時点）

北海道  
**75.6%**

全国  
**85.4%**

※北海道は全国40位

### ＜活 動 例＞

【平時（普段）】

- ◆防災組織の普及・啓発
- ◆地域の災害危険の把握
- ◆防災訓練の実施



【発災時】

- ◆防災組織の普及・啓発
- ◆地域の災害危険の把握
- ◆防災訓練の実施



### ＜結成するには＞

新たに結成

既存の組織を活用

- 既存の組織に関係なく、新たにメンバーを集めて結成する

- 既存の組織（町内会や自治会）に防災部などを設置

※組織の結成など、詳細につきましては、お住まいの市町村にお問い合わせください。

## 自主防災組織

### ページ内目次

自主防災組織とは、どんな組織？  
どうして自主防災組織が必要なの？ 自主防災組織というための要件  
自主防災組織を設置して活動することの効果  
自主防災組織を結成するためには  
自主防災組織の平常時と災害時の役割 自主防災活動の取り組み事例  
自主防災組織活動カバー率 リーフレット 参考

家族・隣近所の安全・安心は自主防災組織から

## 自主防災組織とは、どんな組織？



## 災害対策基本法 第2条の2 2項（基本理念）

住民一人一人が自ら行う防災活動及び自主防災組織（住民の隣保協同の精神に基づく自発的な防災組織をいう。以下同じ。）その他の地域における多様な主体が自発的に行う防災活動を促進すること。

## 災害対策基本法 第5条第2項（市町村の責務）

市町村長は・・・当該市町村の区域内の公共的団体等の防災に関する組織及び自主防災組織の充実を図るほか、住民の自発的な防災活動の促進を図り、市町村の有する全ての機能を十分に発揮するように努めなければならない。

## どうして自主防災組織が必要なの？



阪神・淡路大震災や新潟中越地震など、災害の規模が大きくなればなるほど、地域の防災機関（自治体や消防）が全ての災害現場に向かうことは難しくなります。

阪神・淡路大震災では6千名を超える尊い命が犠牲となりましたが、ガレキ下から救出された人々は2万5千～3万5千人とも言われており、その救出にあたって活躍したのは、地域の住民や小規模事業所の方たちでした。

また、平成17年、尼崎市において発生した列車事故でも、事故直後から周辺の事業所が救出・救助にあたり大きな成果をあげています。



災害時には、「自助」、「公助」とともに、地域における自主防災組織、ボランティア、企業などが助け合う「共助」の仕組みの構築が重要です。

自主防災組織とは、地域住民が自分たちの地域は自分で守るという自覚、連帯感に基づき自主的に結成する組織です。

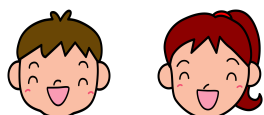
## 自主防災組織というための要件



地域の住民が組織結成に合意し、規約、組織、活動内容を定めることで成立します。

（役場等に許可や届出の手続きは必要ありませんが、連携して活動するため結成したことを役場等にお知らせください。）

## 自主防災組織を設置して活動することの効果



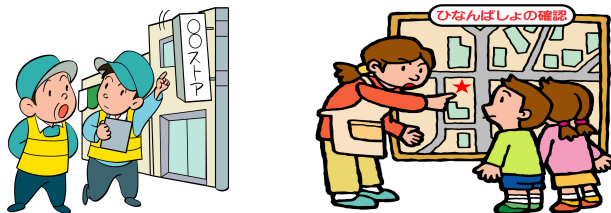
平常時には、地域の連帯感や地域コミュニティの向上が図られます。

防災という話題で、家族、隣近所、町内会等で意見やお話することで連帯が増します。

災害時には、被害を軽減することが可能となります。

災害時には、各自が取るべき行動を理解していることで、被害を極めて少なくすることができます。

## 自主防災組織を結成するためには



大きく2つの方法があります。

住民の皆さんの活動ですので、既存の組織を活用する方がより現実的です。

また、楽しく参加できること、活動目標や内容の明確が大切です。

### 既存の組織を活用

町内会や自治会等の組織の中に防災部等を設けて組織化する

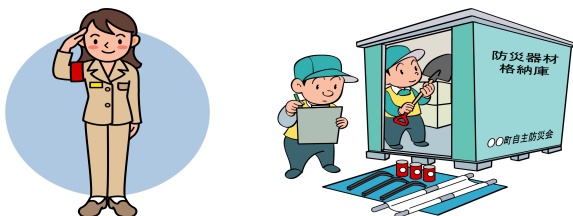
### 新たに結成する

既存の組織に関係なく、新たにメンバーを集めて結成する

※既存の組織を活用する場合・新たに結成する場合ともに、

[自主防災組織規約\(ひな形\) \(DOCX 14.6KB\)](#) のような規約を定めると効果的です。

## 自主防災組織の平常時と災害時の役割



### 活動例

#### 平常時

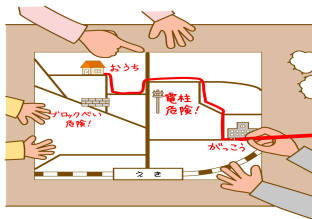
1. 防災知識の普及

2. 地域の災害危険の把握
3. 防災訓練の実施
4. 火気使用設備器具等の点検
5. 防災資器材の備蓄と整理・点検

## 災害時

1. 災害情報の収集及び住民への迅速な伝達
2. 出火防止と初期消火
3. 避難誘導
4. 被災住民の救出・救護
5. 給食・給水活動

## 自主防災活動の取り組み事例



自主防災の原点をしっかり把握した上で、意識して活動するとよいでしょう。

自分たちのまちにどんな災害が発生するのか、危険箇所、災害時要援護者はどこか  
その災害が起きたとき、自分たちのまちに、どのような被害が出るのかを想像する  
その時に必要になること、必要になるものはなにか、何を準備しておけばよいか

## 取り組み事例

1. 「防災マップ」を作成し配布する
2. 災害図上訓練（D I G）を行う
3. 小学校や中学校等と協力し、休日等に「防災フェア」を行う(又は公民館等で)
4. 防災ウォーキングの実施
5. ペットボトルによる炊飯等、災害時の炊き出し訓練を講習会や町内清掃時に実施する



組織の結成など詳細につきましては、お住まいの地域の市町村にお問い合わせください。

## 自主防災組織活動カバー率

[市町村別自主防災組織活動カバー率\(R5.4.1現在\) \(PDF 258KB\)](#)

[\(参考\)自主防災活動カバー率算出方法 \(PDF 385KB\)](#)